

野菜の需給・価格動向レポート(平成28年10月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	9月の価格情報				入荷量及び主要産地	生育及び価格の10月下旬までの見通し		「図の見方」		
	(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格		10月の価格情報			(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格				
	指定野菜の 関東・近畿 ブロック旬別 平均販売 価額	中旬	下旬	指定野菜の 関東・近畿 ブロック旬別 平均販売 価額		上旬				
葉茎菜類	キャベツ	74.19 (128%)	95 (125%)	74.19 (137%)	102	・入荷量：16,366t ・主産地：群馬（53）、千葉（17）、岩手（10）、茨城（9）	平均価格	群馬産は、台風等による多雨の影響で腐敗や病害が発生し歩留まりが低下したものの、その後は肥大が早く大玉傾向となっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、一部の生産者で作期を早めた方もいるため現在平年より多めの出荷となっているものの、曇天による生育遅れ及び小玉傾向となっていることから、今後は平年より少なめの出荷の見込み。 群馬産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		88.91 (109%)	97 (108%)	88.91 (118%)	105	・入荷量：3,972t ・主産地：群馬（51）、長野（22）、茨城（17）				
	たまねぎ	83.77 (138%)	116 (116%)	83.77 (101%)	85	・入荷量：11,056t ・主産地：北海道（97）	平均価格	北海道産は、台風の被害を受けたものの作柄が良く、また、被害のあった輸送網についてもトラック等の振り替え輸送で対応し、一部では復旧していることもあり、引き続き平年並みの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		
		83.77 (138%)	116 (110%)	83.77 (100%)	84	・入荷量：3,800t ・主産地：北海道（80）、兵庫（19）				
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	287.00 (117%)	336 (143%)	240.04 (173%)	415	・入荷量：5,877t ・主産地：青森（22）、北海道（18）、秋田（16）、山形（11）	平均価格	青森産は、台風により折損等が発生しており、下等級品の増加や歩留まりの低下がみられることがある。北海道産は、気温の低下により病害等の発生が少なく品質は良いものの、台風による折損や腐敗が散見されたことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。秋田産は、生育は概ね順調で大玉も良く、現在、やや前進出荷傾向となっていることから、今後は平年より多めの出荷の見込み。山形産は、多雨による収穫遅れや病害が散見されることがある、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 秋田産の出荷が平年より多めと見込まれるもの、青森産、北海道産及び山形産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		487.13 (111%)	541 (98%)	467.01 (134%)	627	・入荷量：178t ・主産地：香川（24）、徳島（16）、三重（14）、奈良（12）、大阪（11）、高知（11）				
	はくさい	81.96 (120%)	98 (105%)	56.81 (195%)	111	・入荷量：14,330t ・主産地：長野（68）、茨城（16）	平均価格	長野産は、多雨による傷みが見られ、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、今後は天候の回復に伴い、出荷量の増加が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、曇雨天の影響により、小玉傾向であることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 長野産の出荷が平年並みと見込まれるもの、茨城産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		88.72 (101%)	90 (92%)	69.44 (153%)	106	・入荷量：5,945t ・主産地：長野（95）				
	ほうれんそう	583.95 (134%)	783 (133%)	385.11 (280%)	1080	・入荷量：1,501t ・主産地：群馬（38）、茨城（18）、栃木（15）、千葉（9）	平均価格	群馬産は、台風及び曇天により生育遅れとなっていたものが出荷時期を迎えており、露地もでの播種の遅れにより出荷が遅れるものがあることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、曇雨天により日照不足となっており、生育が緩慢であることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。栃木産は、曇雨天により生育が緩慢なため、現在は平年より少なめの出荷となっているものの、天候が回復してきていることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 群馬産及び栃木産の出荷が平年並みと見込まれるもの、茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		670.86 (124%)	830 (120%)	461.74 (211%)	975	・入荷量：549t ・主産地：岐阜（58）、北海道（10）				
	レタス (結球)	158.27 (105%)	166 (94%)	158.27 (256%)	405	・入荷量：9,057t ・主産地：茨城（54）、長野（29）	平均価格	茨城産は、曇天による日照不足や降雨により多少の傷みがみられ、小玉傾向であることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。長野産は、台風等による多雨の影響で病害が散見され歩留まりが低下し、小玉傾向でもあることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 茨城産及び長野産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		152.57 (113%)	172 (96%)	152.57 (253%)	386	・入荷量：1,561t ・主産地：長野（45）、茨城（28）、兵庫（19）				
果菜類	きゅうり	221.22 (125%)	277 (126%)	289.03 (132%)	381	・入荷量：6,155t ・主産地：埼玉（27）、群馬（24）、福島（14）、茨城（12）	平均価格	埼玉産は、曇天による着果不良により、現在は平年より少なめの出荷となっているものの、今後は晩抑制作や越冬作ものの出荷時期を迎えることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、曇雨天や気温低下による肥大不良や病害の発生により、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は冬春作の出荷が増えてくることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。福島産は、曇雨天により花とび等がみられることがあることから、引き続き平年よりもやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、曇雨天による大きな影響なく、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産が平年並みと見込まれるもの、埼玉産、群馬産及び福島産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		232.80 (126%)	293 (120%)	298.96 (132%)	394	・入荷量：1,188t ・主産地：群馬（22）、宮崎（19）、北海道（13）、大阪（12）、福島（8）				
	トマト (大玉)	252.46 (110%)	278 (121%)	347.41 (116%)	402	・入荷量：6,354t ・主産地：千葉（21）、茨城（14）、青森（13）、福島（11）、北海道（8）	平均価格	千葉産は、曇雨天により着果不良、小玉傾向となっており病害も散見されることから、引き続き平年よりも少なめの出荷の見込み。茨城産は、出荷終盤を迎え、引き続き平年並みの出荷の見込み。青森産は、概ね天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福島産は、順調な生育により、現在平年よりもやや多めの出荷となっているものの、9月の曇天による気温低下及び日照不足により着色不良、肥大の遅れがみられることがあることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 茨城産、青森産及び福島産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		298.46 (106%)	315 (112%)	371.67 (117%)	435	・入荷量：1,171t ・主産地：北海道（22）、熊本（21）、岐阜（18）、岡山（11）				
	なす	230.51 (133%)	306 (147%)	449 (116%)	301.00 (348)	・入荷量：3,421t ・主産地：高知（35）、栃木（21）、群馬（15）、茨城（14）	平均価格	高知産は、曇天により落花が発生しているものの、天候の回復により出荷量が増加してきていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、曇天により果実肥大が緩慢で着花数も少なく、現在平年よりもやや少なめ出荷となっているものの、今後は出荷終盤を迎え、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、曇雨天の影響で病害が多く、下等級品が散見されるものの、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 高知産、栃木産及び群馬産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。		
		232.81 (120%)	280 (117%)	263.21 (125%)	329	・入荷量：883t ・主産地：高知（26）、山梨（19）、熊本（14）				
	ピーマン	263.58 (120%)	316 (108%)	263.58 (180%)	422	・入荷量：2,301t ・主産地：茨城（61）、岩手（20）	平均価格	茨城産は、曇天による日照不足及び気温の低下により肥大が緩慢であることから、引き続き平年よりも少なめの出荷の見込み。岩手産は、気温の低下により肥大が緩慢となっていることから、引き続き平年よりもやや少なめの出荷の見込み。 茨城産及び岩手産の出荷が平年よりも少なめ若しくはやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		296.27 (113%)	335 (104%)	296.27 (227%)	411	・入荷量：549t ・主産地：茨城（16）、宮崎（16）、青森（13）、高知（11）、大分（10）、兵庫（9）				
根菜類	だいこん	94.60 (132%)	125 (134%)	67.55 (197%)	133	・入荷量：13,851t ・主産地：北海道（31）、青森（29）、千葉（27）	平均価格	北海道産は、台風の影響により場での母数が減少していることに加え、気温の低下により肥大が進まず小ぶりのものが多いことから、引き続き平年よりも少なめの出荷の見込み。青森産は、台風等による多雨の影響で腐敗等が発生し、歩留まりが低下しており、また肥料の流出により肥大も緩慢であることから、引き続き平年よりも少なめの出荷の見込み。 北海道産及び青森産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		95.37 (125%)	119 (129%)	76.48 (170%)	130	・入荷量：4,839t ・主産地：北海道（34）、石川（33）、青森（11）、新潟（9）				
	にんじん	123.08 (254%)	313 (240%)	123.08 (211%)	260	・入荷量：8,794t ・主産地：北海道（91）	平均価格	北海道産は、台風の影響により場での母数が減少していることに加え、気温の低下により肥大が進まず小ぶりのものが多いことから、引き続き平年よりも少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		123.11 (269%)	331 (253%)	123.11 (227%)	280	・入荷量：2,384t ・主産地：北海道（98）				

1 主要野菜の生産出荷状況

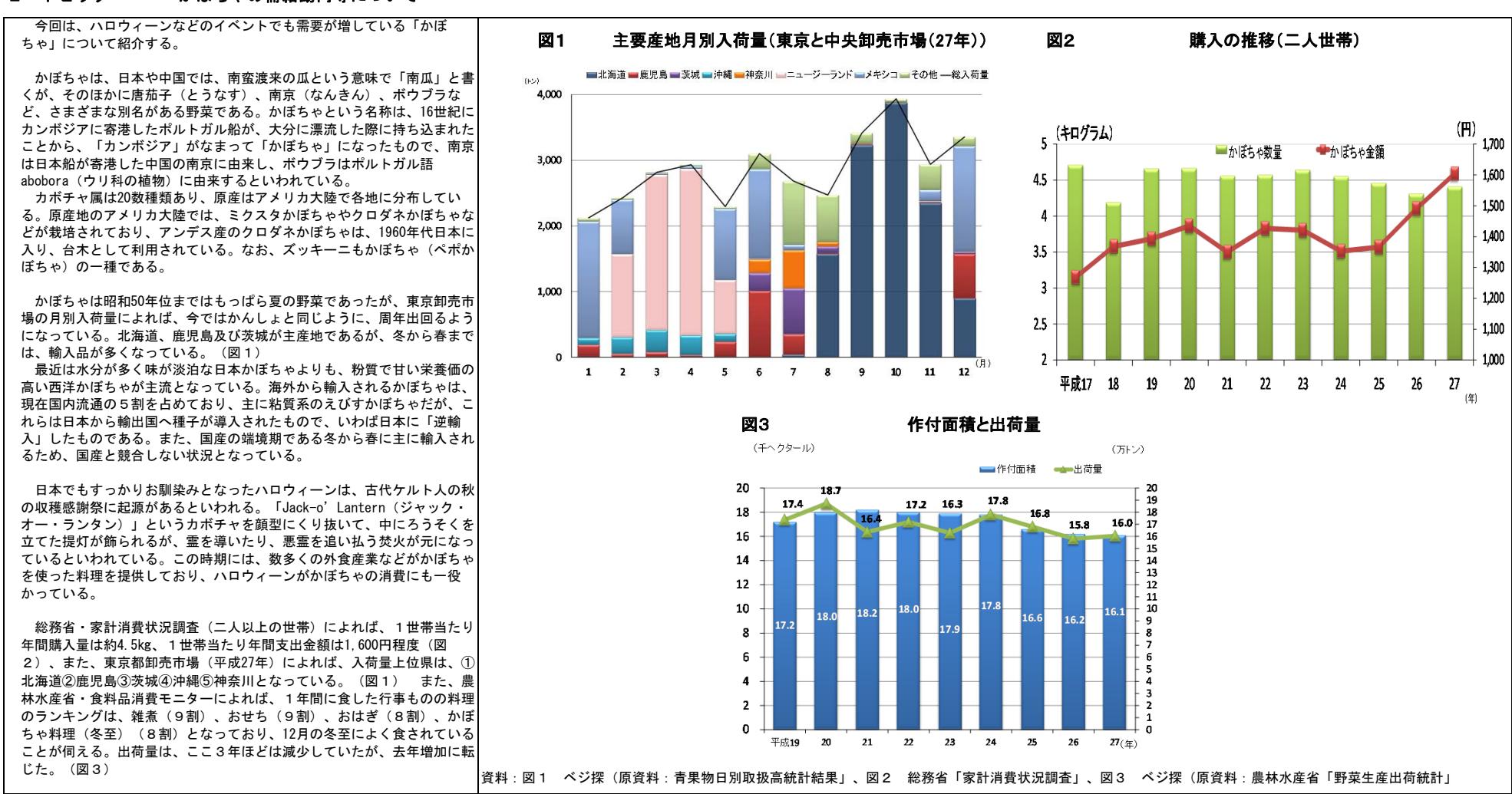
種類		9月の価格情報		10月の価格情報		入荷量及び主要産地	生育及び価格の10月下旬までの見通し	「図の見方」	
		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額			(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		「図の見方」
		中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	現時点の価格水準	
いも類	さといも	254.79 (130%)	330 (139%)	354	220.97 (145%)	321	・入荷量：1,290t ・主産地：埼玉(47)、千葉(30)		埼玉産は、適度な降雨もあり生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、早生が8、9月の多雨の影響で収穫遅れとなっていたものが出荷時期を迎えるが、中生もこれから出荷盛期に向けて増加していくと見込まれることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。 埼玉産の出荷が平年並みと見込まれ、千葉産の出荷が平年よりも多く見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		220.11 (167%)	368 (99%)	365	217.56 (181%)	393	・入荷量：226t ・主産地：愛媛(55)、宮崎(10)		
	ばれいしょ	111.77 (151%)	169 (91%)	154	96.99 (154%)	149	・入荷量：8,096t ・主産地：北海道(99)		北海道産は、台風による大雨により腐敗が発生し歩留まりが低下し、肥大もあり良くないことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年よりもやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		111.77 (152%)	170 (92%)	156	96.99 (148%)	144	・入荷量：1,525t ・主産地：北海道(80)		

注：
 1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別平均販売価額の赤字および青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字および赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
 5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで前年実績である。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。

種類		9月の価格情報		10月の価格情報		入荷量及び主要産地	生育及び価格の10月下旬までの見通し	「図の見方」		
		(参考)過去5カ年平均価格		東京・大阪市場の旬別価格			(参考)過去5カ年平均価格		「図の見方」	
		中旬	下旬	東京・大阪市場の旬別価格	上旬		平均価格	今後の価格水準		
洋菜類	ブロッコリー	463.99 (116%)	536 (130%)	601	378.98 (196%)	741	・入荷量：2,136t ・主産地：北海道(35)、埼玉(18)、長野(15)		北海道産は、台風の影響により場での母数が減少していることに加え、気温の低下により小ぶりのものが多いことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 埼玉産は、長雨の影響により病害が散見され、播種のできない場もあったことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 北海道産、埼玉産及び長野産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		440.35 (130%)	572 (134%)	590	401.04 (155%)	621	・入荷量：526t ・主産地：鳥取(31)、北海道(21)、長野(21)、徳島(8)			
根菜類	ごぼう	258.04 (133%)	344 (124%)	321	229.57 (132%)	303	・入荷量：894t ・主産地：青森(72)、茨城(12)		青森産は、台風により葉の損傷や茎の折れ等が発生し、腐敗も見られ、細物や短物が多くなっていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 青森産の出荷が少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		169.63 (141%)	240 (133%)	225	158.75 (151%)	240	・入荷量：685t ・主産地：北海道(35)、青森(27)、茨城(17)、群馬(8)			
果菜類	かぼちゃ	142.49 (149%)	212 (124%)	176	123.11 (151%)	186	・入荷量：3,143t ・主産地：北海道(98)		北海道産は、台風やその後の多雨により腐敗等が発生し、歩留まりが低下していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		133.59 (119%)	159 (101%)	135	128.48 (133%)	171	・入荷量：1,060t ・主産地：北海道(84)			

注：
 1 平均価格は、過去5カ年（平成23～27年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
 2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
 3 旬別価格の赤字および青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字および赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
 5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで前年実績である。

2 トピック 一 かぼちゃの需給動向等について 一



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、松岡、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajuku01_000058.htmlに掲載しています。

※無断転載禁ず・レポートに記載された情報をご利用になられたことにより生じかかる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。